

(中国乙22)
梅毒 発生推移
=2023年10月度=

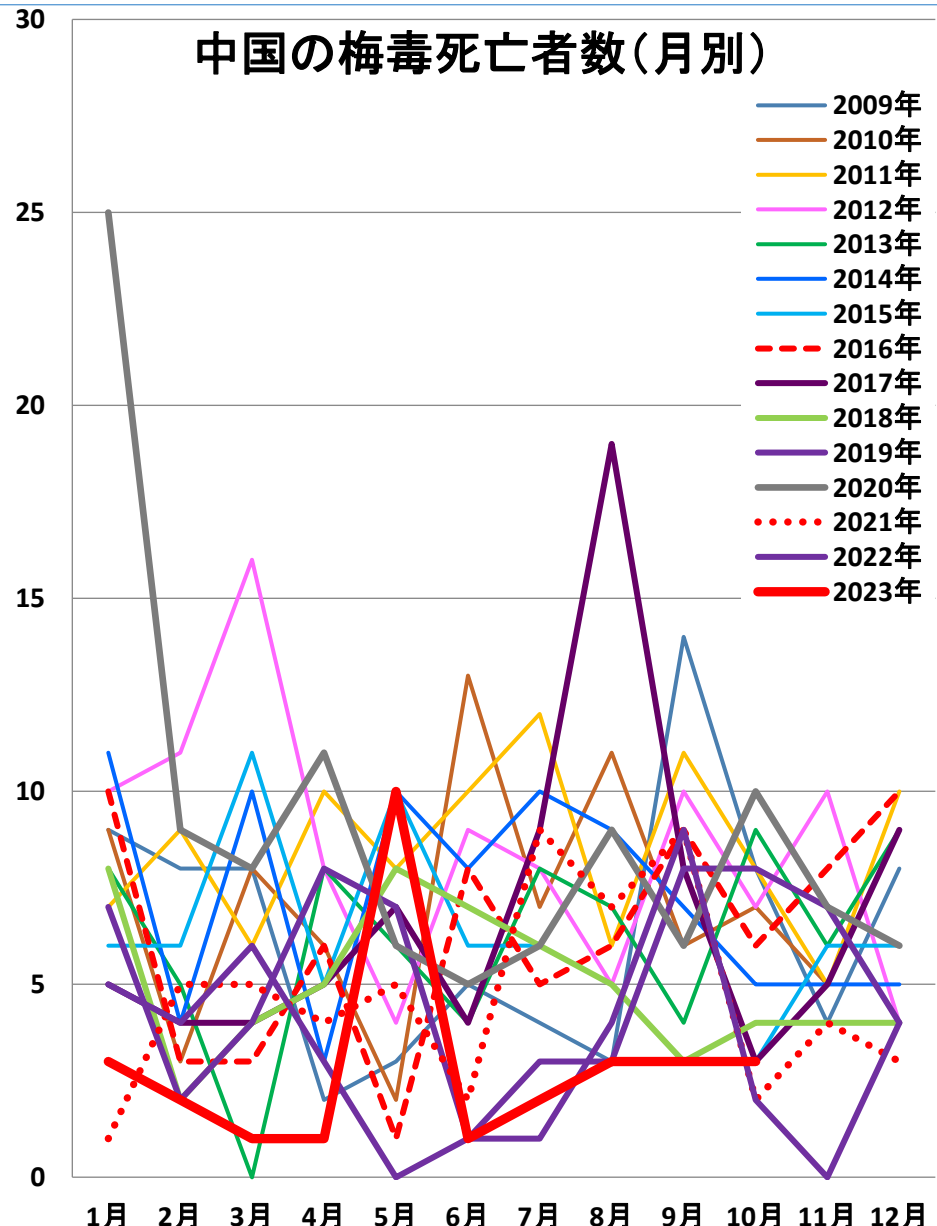
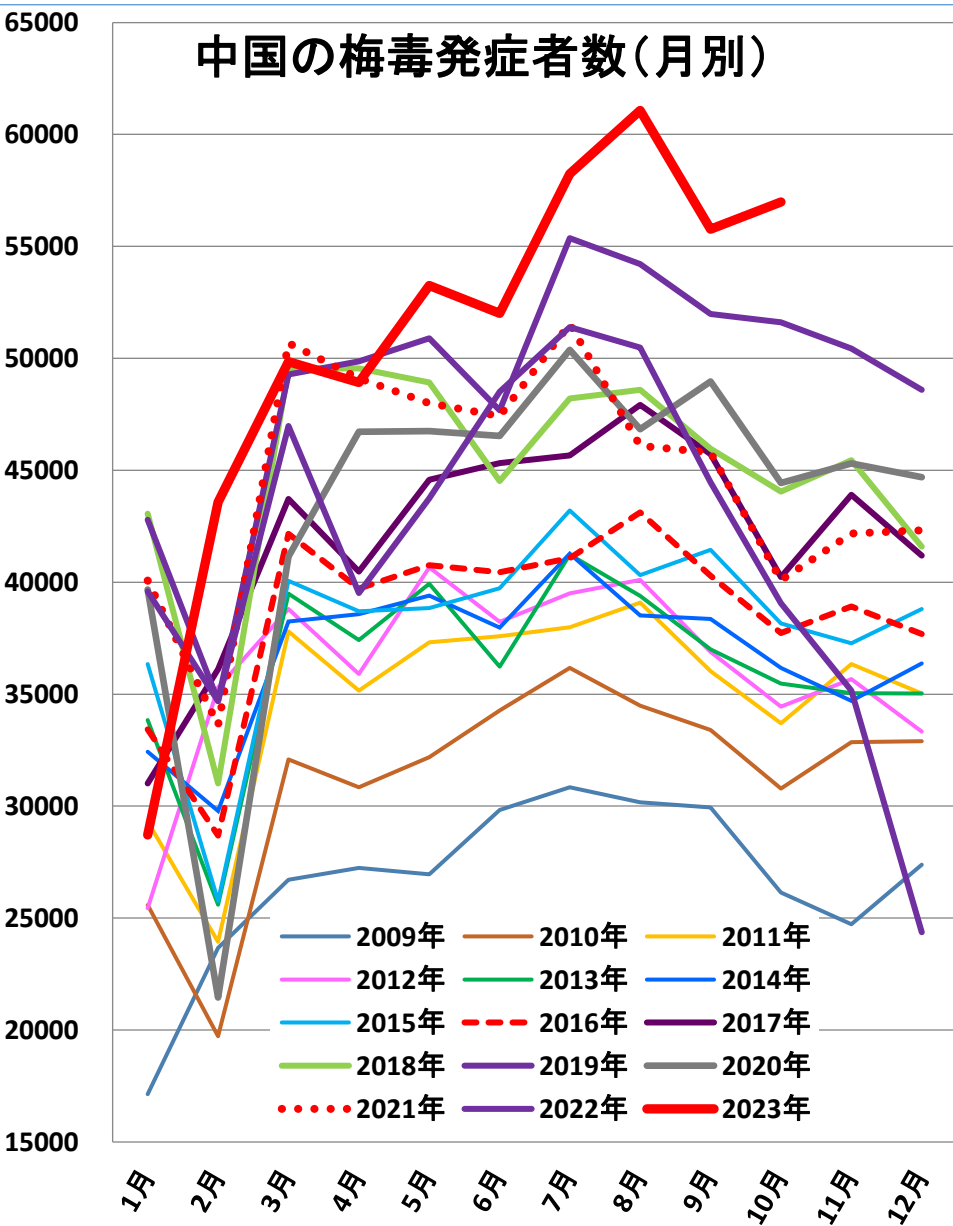
発表：2023年11月17日 天津CDC

作成：2023年11月29日
日中医療衛生情報研究所

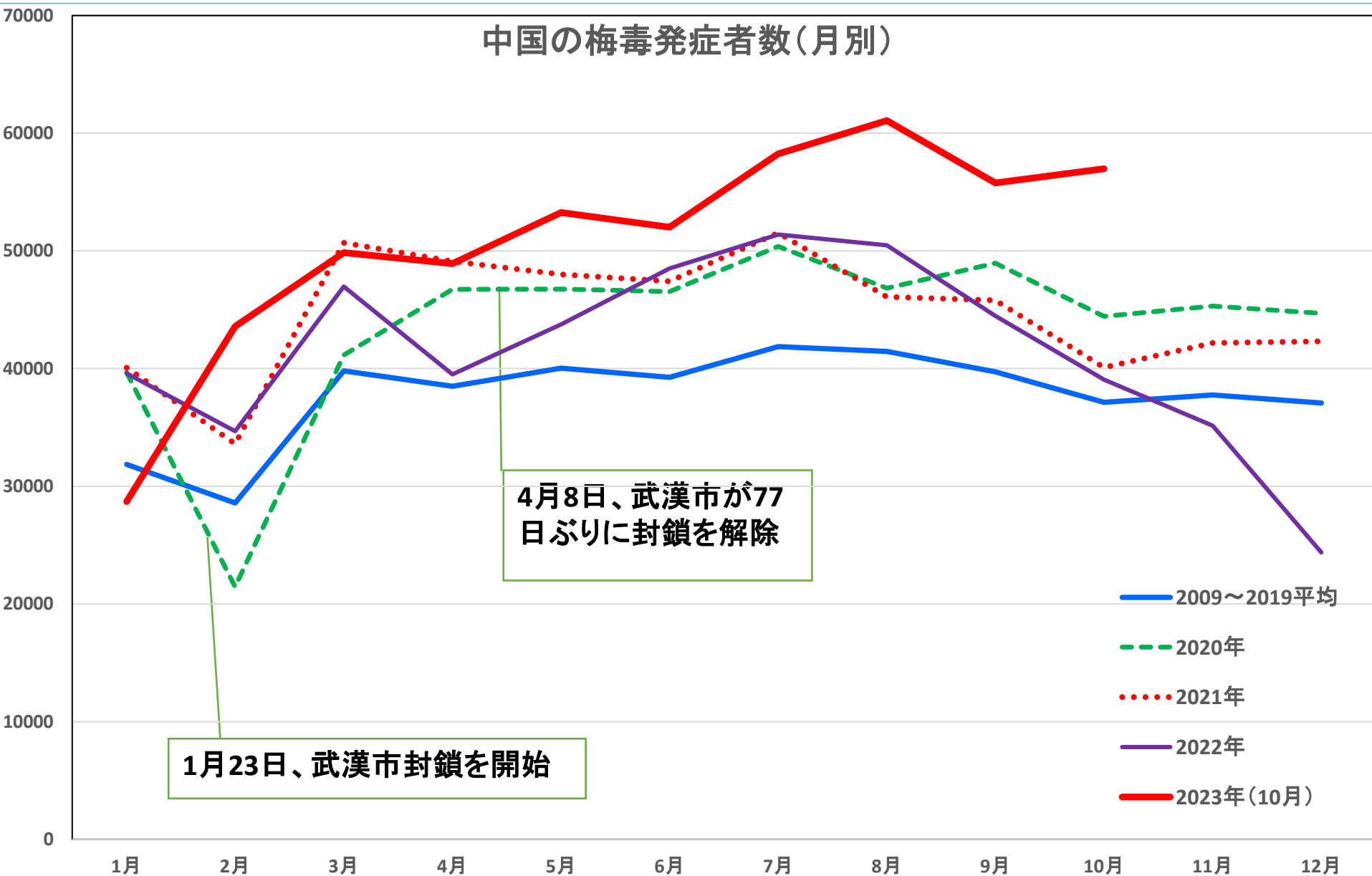
梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、(淋病は2018年度減少に転じた?)
- 中国の梅毒の特徴は、
 1. 毎年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
 2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場に増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
 3. 2015年は、433,974人となったが、
2016年は、438,199人
2017年は、475,860人
2018年は、494,867人に！
2019年は、535,819人に
2019年5月から連続9か月続いた過去最悪の状況は
2020年1月以後激減したがコロナの影響が消えるとまた増加？
2020年は、464,435人と減ったが、死者は増えている。

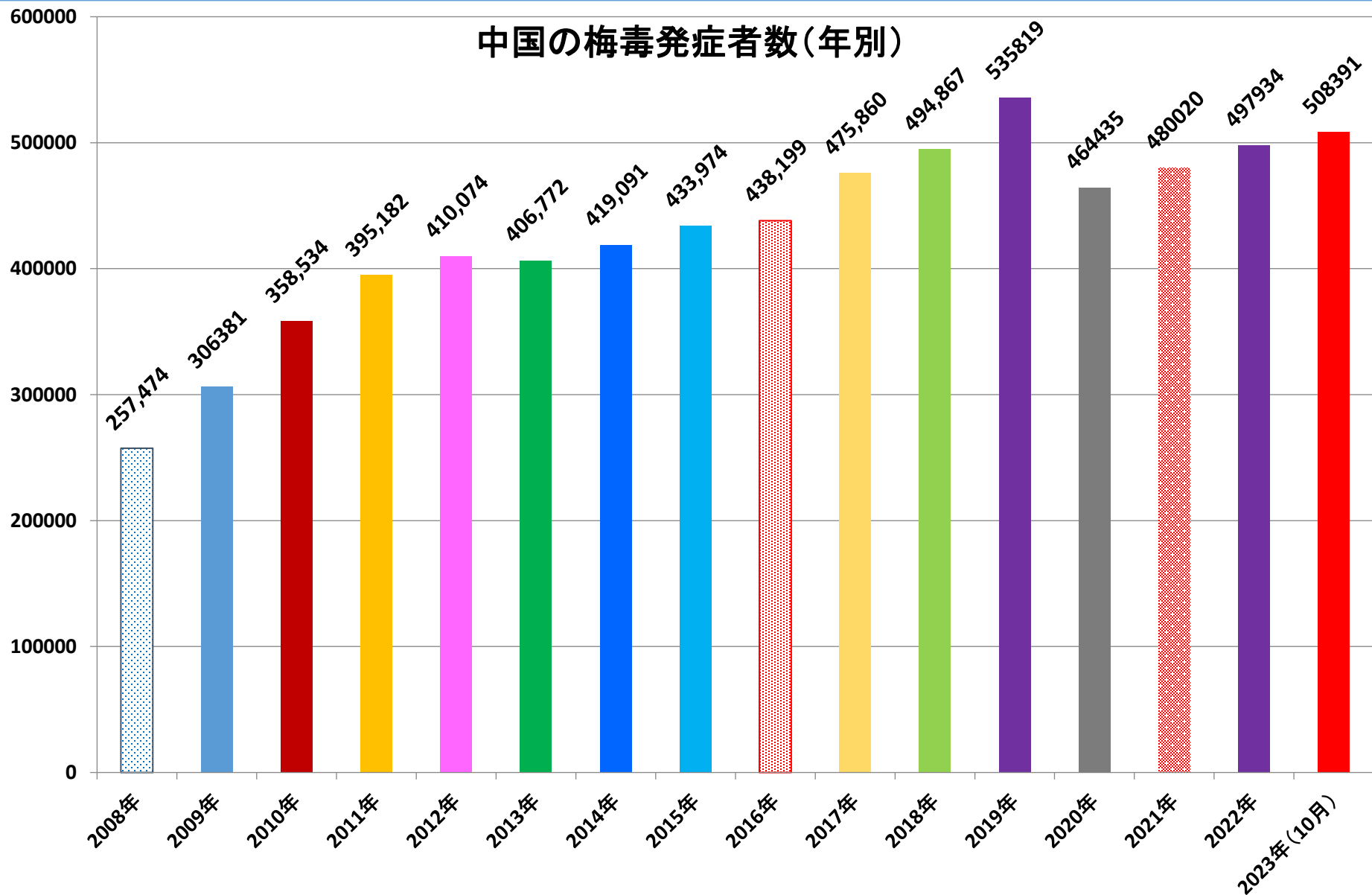
乙22：梅毒



乙22：梅毒：コロナの前後



乙22：梅毒



乙22：梅毒

